

リーグ戦、女子部リーグ戦代替大会オンラインマニュアル

リーグ戦代替大会において、立合いが両校に行って立合いを行えない場合、ZOOMを利用してオンラインで試合を行うこととなる。本マニュアルはオンラインで試合を行う方法について指針を示したものである。

なお、本マニュアルはあくまで指針であり、対戦校、立ち合いで協議を行い、より良い方法が示された場合は、そちらを優先して良い。

ZOOMのホストを誰にするかは各試合に任せる。(時間無制限で使えるアカウントがあれば推奨)

ZOOMの部屋に時間制限がある場合、立ちの合間など試合進行を妨げないタイミングで部屋を繋ぎなおすこと。

通信料や端末の充電などをあらかじめ確認し、試合中に途切れることが無い様注意する。

撮影用端末2つバージョンと撮影用端末1つバージョンを以下で提案するが、原則として撮影用端末2つバージョンもとに行うこと。端末が足りないなどやむを得ない事情があるときのみ撮影用端末1つバージョンでも可能とする。

(撮影用端末2つ Ver)

試合形式

○A大学 対 B大学 立合い C大学

撮影用デバイス

- ① 射場を撮影するもの (ZOOM 接続)、一本ごとの○×を立合いに伝えること。
- ② 的場を撮影するもの (ZOOM 接続)

確認用デバイス

- ③ 相手校の的中を立合い (C大学) と共に確認するもの (ZOOM 接続)

○立合い C大学 (男子試合は2人、女子試合は1人) ※デバイスは1人につき1台

○試合進行

男子：A/B大学 一の立同時進行→交代→A/B大学 二の立同時進行 連立ちなし

ZOOMの部屋は2つ必要 (ホストは立合い)

→男子は立ちが同時に進み、確認のタイミングや的中報告がかぶるため

最初に全体でグループを作って、ブレイクアウト機能を使うと便利であるため推奨

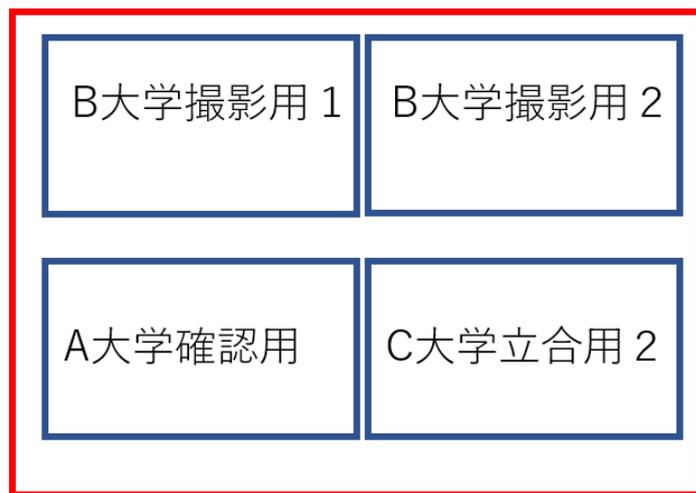
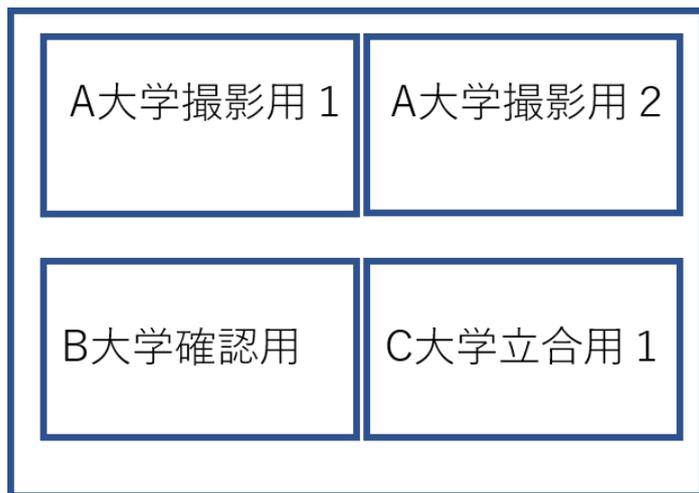
立合い同士は的中を共有するために、立が終わるごとに随時 LINE などを用いて連絡を取り合うこと

① A 大学的中確認用

A 大学デバイス①/②・B 大学デバイス③・C 大学（立合い）

② B 大学の中確認用

B 大学デバイス①/②・A 大学デバイス③・C 大学（立合い）

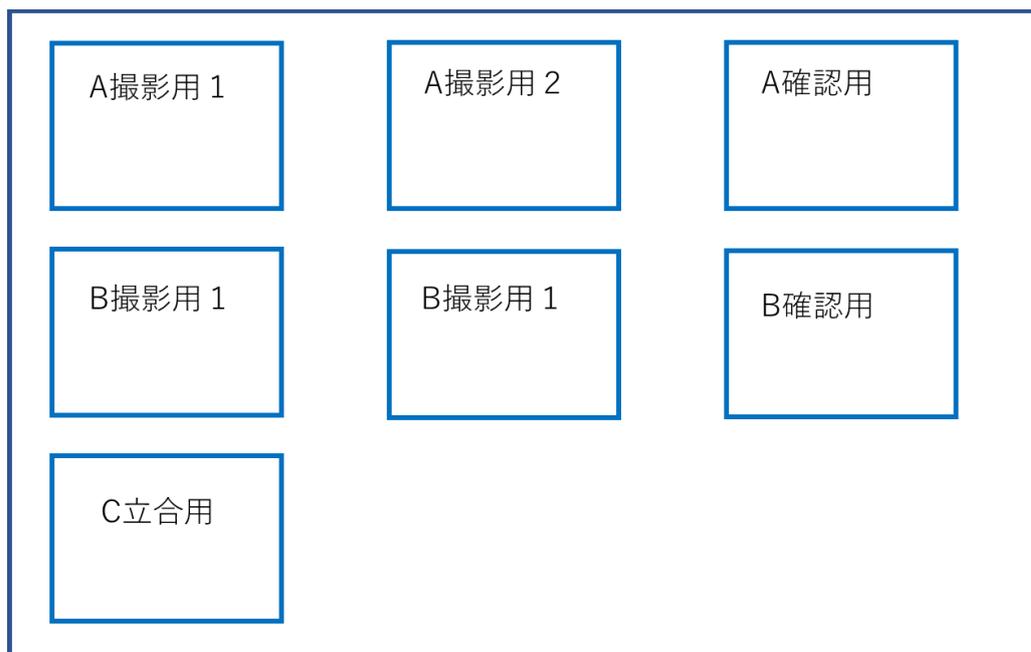


女子；A 大学→交代→B 大学

立ちが交互に進むため、部屋は 1 つ（同時に行射する場合は男子と同様にしても構わない）。

相互的中確認用

A 大学デバイス①/②/③・B 大学デバイス①/②/③・C 大学（立合い）



試合の流れ

1、挨拶 (9:30)

試合本番で使う部屋と同様に一度 ZOOM の部屋を作る。

両校(各校)主将・立合いによる挨拶。

「〇〇大学主将の〇〇です。宜しくお願いします。」

通信機能の確認

2、附矢 (9:40~)

一旦接続を切る。(通信料などに余裕があれば繋いだままの方が望ましい)

3、的替え (10:20~)

再度 ZOOM に接続し、待機する。(カメラの位置は全ての的が映る位置で固定)

デバイス①、②を ZOOM に接続し、所定の場所に設置する。

4、試合 (10:30~)

立合いと対戦校で連絡を取り、「〇〇時〇〇分から試合を開始する」のような基準を設けてから試合を開始することで足並みをそろえて試合を開始できる。

立合いは、試合の進行状況を両校で合わせるよう注意する。

確認の仕方は都学連 YouTube にアップロードされている動画「リーグ戦代替大会オンラインマニュアル」を参照。

試合中：

各立が終わり、確認が終わるたびに記録用紙を画面に見せるなどの方法で的中を照合する。

一立にかかる時間は大学ごとに異なるので、同じペースで試合を行うために、各立ごとに立ち合いが両校の進行状況を見ながら「はじめ」のように合図を出す。

合図をもとに入場し、行射を開始する。

選手交代の連絡などを、余裕をもって行うため、男子の場合は二の立が、女子の場合は両校が一立ずつ引き終える度に数分程度のインターバルを置くことを推奨する。

選手交代の時：

選手交代があるときは、選手交代をする大学から相手校、立ち合いに共有する。方法は三者協議で事前に定める。(LINE グループなどを事前に作っておくとスムーズに行える。ZOOM のチャットや口頭でも可能とする。)

以下に各デバイスの試合中の動きを示す。

デバイス①（射場）

主審の試合開始宣言を受け次第、試合の様子を映す。

全ての的を終始映したまま、可能な限り引いている選手の様子を映す。

撮影者が中った際は「○」抜いた際は「×」とその場で一本一本申告する。

（微妙な矢は「後で確認します」「保留をお願いします」）

↓

確認中、安土での的中を操作していないことを担保するため、全ての的を映したままにしておく

↓

繰り返し

デバイス②（的場）

1 立目が始まる際に看的へ来た者が的場を撮影する。（ZOOM へ接続）

↓

確認の際、デバイスを持って安土に出て、一的ごとに的中の確認をする。

- ・立合い/対戦校による的中の確認が済むまで次の的に移動しないこと。
- ・全ての的的中が確認されるまで、決して矢には触れないこと。

デバイス③（対戦校的中確認用）

試合開始宣言後、ZOOM へ接続する。

↓

相手校の様子を監視し、申告される「○」「×」を記録しておく。

各立ごとに立合いとともに的中確認し、問題無ければその旨を伝え、次の立へ進む。

※無料の ZOOM アカウントの場合、40 分の時間制限があるため、適宜部屋を解散して繋ぎなおすことを推奨する。

5、試合後

対戦校、立ち合いで記録用紙の照合を行う。

立ち合いによって勝敗が発表される。

女子マニュアル

男子と同様

ZOOM の部屋の数が違うこと、両大学交互に行射を行うことを除けば男子と一連の流れは同様である。

先攻後攻を決定する方法を事前に協議しておくこと。(オンラインでは矢振りが行えないため、各大学で決めて良い。)

(撮影用デバイス1つ Ver)

○A 大学 対 B 大学

デバイス

① 射場を撮影するもの。

相手校、立合い (C 大学) に自分の大学の的中を伝える (ZOOM 接続)

② 相手校の的中を立合い (C 大学) と共に確認するもの (ZOOM 接続)

○立合い C 大学 (男子試合は 2 人、女子試合は 1 人) ※デバイスは 1 人につき 1 台

○試合進行

男子：A/B 大学 一の立同時進行→交代→A/B 大学 二の立同時進行

ZOOM の部屋は 2 つ必要 (ホストは立合い)

① A 大学的中確認用

A 大学デバイス①・B 大学デバイス②・C 大学 (立合い)

② B 大学的中確認用

B 大学デバイス①・A 大学デバイス②・C 大学 (立合い)

女子：A 大学→交代→B 大学

ZOOM の部屋は 1 つで OK

※こちらの方法は的中の信憑性の担保という観点で問題があるため、極力避けてください。

どうしても撮影用として使用できる端末が一つしか用意できないという大学のための保険のようなルールです。

男子マニュアル

的中確認の方法以外は撮影用端末2つバージョンと同様。

4、試合（10:30～）

デバイス①（射場）

主審の試合開始宣言を受け次第、試合の様子を映す。

全ての的を終始映したまま、可能な限り引いている選手の様子を映す。

中った際は「○」抜いた際は「×」と申告する。

（微妙な矢は「後で確認します」「保留をお願いします」）

↓

全員引き終えたら的を映したまま矢道を通して1的ずつ的中確認を行い、相手校と立合いの確認を取る。

↓

全ての的で確認が取れ次第、矢を抜き、矢を抜き終えたら全ての的に矢が無い事を確認し、的を映したまま本座の後ろ回りまで戻ってくる

↓

繰り返し

デバイス②（対戦校的中確認用）

試合開始宣言後、ZOOMへ接続する。

↓

相手校の様子を監視し、申告される「○」「×」を記録しておく。

各立ごとに立合いとともに的中確認し、問題無ければその旨を伝え、次の立へ進む。

5、試合後

デバイス①

主審の試合終了宣言後、両校(各校)主将による挨拶。

「ありがとうございました」

女子マニュアル

男子と同様。

4、試合（10:30～）

デバイス①（射場）

主審の試合開始宣言を受け次第、試合の様子を映す。

全ての的を終始映したまま、可能な限り引いている選手の様子を映す。

中った際は「○」抜いた際は「×」と申告する。

(微妙な矢は「後で確認します」「保留をお願いします」)

↓

全員引き終えたら的を映したまま矢道を通して 1 的ずつ的中確認を行い、相手校と立合いの確認を取る。

↓

全ての的で確認が取れ次第、矢を抜き、矢を抜き終えたら全ての的に矢が無い事を確認し、的を映したまま本座の後ろ辺りまで戻ってくる

↓

繰り返し

デバイス②（対戦校的中確認用）

試合開始宣言後、ZOOM へ接続する。

↓

相手校の様子を監視し、申告される「○」「×」を記録しておく。

各立ごとに立合いとともに的中確認し、問題無ければその旨を伝え、次の立へ進む。

5、試合後

主審の試合終了宣言後、両校(各校)主将による挨拶。

「ありがとうございました」